

《学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動について》

# 桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.25 令和5年1月25日 文責 渡邊

## 第3回「桑村小応援団会議」を開催しました！

令和5年1月20日(金)に、第3回「桑村小応援団会議」を開催しました。

応援団員(コミュニティ・スクール委員)の方々には、5時間目の授業を参観していただき、その後の会議に臨んでいただきました。

### 【授業参観の様子】



【1年生の授業参観】



【4年生の授業参観】



【6年生の授業参観】

### 【応援団会議の様子】



【会議の様子①】



【会議の様子②】



【図書室の見学】

学校長は、これまでの教育活動への応援に対するお礼と来年度の教育構想に向け、その方向性について話しました。

「学校では、令和5年度の教育課程を編成する会議を重ねています。桑村小学校の『強み』を働かせて、子供たちにかなる資質・能力を育成するのかを協議しています。

大切にすべきこと、それは歴史ある桑村小学校の伝統を尊重しつつ、自然豊かな環境を生かした教育活動の展開を通して、『未来を担う感性豊かで、主体的に取り組み、夢に向かう子供の育成』を目指して、私たち教職員と家庭、地域がこれからも協働で教育活動の創造に努めることである」という説明でした。また、「感性」については、次のような話がありました。

「私は、桑村小学校に赴任して、北に向かって空を見上げ、大地にしっかりそびえ立つ凜とした富士山の姿を眺めている時に幸せだなと感じます。四季折々にそれぞれ良さがあるのですが、特に、春の富士山が好きです。周りの山々の新緑に生命の息吹が感じられ、その向こうにどんと構えるその姿が美しく、春の晴れた朝の姿には見とれてしまうほどです。

子供や私たち教職員にとって、最も大切なものは、感性ではないかと思えます。豊かな自然の中、本物に触れ、心で観て聴き、自然の声や他者の思いをしっかりと自分の心で受け止めながら感性は磨かれていくような気がします。美しいものを美しいと感じること、自分の好きなどところを見つけられること、相手の素敵などところを見つけること、素直に感謝の気持ちを伝えられることが豊かな感性の表れだと思えるのです。こうした感性の育成をこれからも大切にしたいものです。

そのためには、環境整備が必要となります。本校の宝である桜の樹を守るために、『花咲かおやじの会』と本校PTAが協働で桜の剪定を行ってくださいます。本当に嬉しく思います。どうかこれからもよろしくお願ひします。」

応援団長からは、「学校に通う子供たちが幸せに感じる学校にしていきたい。今日、授業を参観したとき、子供たちの目がとても輝いていた。これはとても大切なことである。これからもそうした学校づくりをみんなですていきたい。」という内容のお話をいただきました。

協議事項では、後期の学校評価の分析と考察について、教務主任の小長谷教諭から、①函南スタンダードについて、②子供たちの様子について、③学校の取組について、④つきたい資質・能力の育成について説明しました。

### 【学校応援団会議で出された応援団員の意見】

◆函南スタンダードの「読書に親しむ」について、読書の冊数に係る競争に重点が置かれ、本を読んでしっかり子供たちは理解できているのか？

◆読書活動を推進するとき、大人が強制したのではなかなか定着することは難しい。

◆読書の楽しさを読んだ冊数で計ることは難しい。本のおもしろさを伝え合う活動が大切である。

◆本を読む目的は何なのかを考えることが大切。そして、子供たちが本の魅力を知ることも必要である。子供がどういう本に興味があるのかは、子供によって違う。それぞれの子供たちに興味をもてる工夫をしたい。

◆本屋さんでは、ポップを楽しく活用している。学校の図書室もいろいろな工夫がされていると思うので、応援団員で見学してみましょう。

※「応援団会議」の後、図書室を皆で見学しました。図書室は、学校図書館司書の小谷先生を中心に、工夫された図書の配架がされていることを知ることができました。

◆校長先生が出している読書通信『読書活動への扉を開く』がとても効果的である。家庭で読書活動に取り組むように働きかけることで、親子の和やかな関係性へもつながっていくことができている。

◆小学生が読書をすることはとても大切なことである。読書活動の推進をこれからも大切にしていく欲しい。そして、その取組を広く家庭や地域に情報発信していくてほしい。

◆読書通信については、桑村小学校のホームページ上にアップされているようだが、どれくらいの頻度で更新されているのか。学校便り『さくら』は、各地域の回覧板で見ることができるが、読書通信とコミュニティ・スクール通信は学校のホームページを通じて情報を知ることができる。更新したことをメールで知らせていただけたらと思う。

◆学校のホームページを上手に活用することはとても大切である。子供たちがタブレットを持ち帰るようになってきたので、それを上手く利用していくてはどうか。紙を使つてのお便りを少しずつ見直すことも必要ではないか。資源を大切にするという視点からも有効であるので、見直すことを奨めたい。

※学校便り『さくら』は、地域の方々に広く桑村小学校の教育活動を知っていただく視点から、これまでのように紙媒体で配布し、各地区での回覧をお願いしていく。しかし、読書通信『読書活動への扉を開く』やコミュニティ・スクール通信『桑村小学校応援団会議』については、紙媒体での配布を取りやめホームページでの情報発信としていくことを検討したい。

◆コミュニティ・スクールとPTAとの関係をより深めることが大切。今後、PTA役員会にコミュニティ・スクール委員が参加し、情報を共有することで、みんなで学校を応援していく体制を発展させていく。

◆「花咲かおやじの会」の活動はとても大切な活動である。地域と保護者、子供、そして職員が集まり、協働で作業することに意義がある。このことが自分たちの学校を大切にするという気持ちにつながるものと思う。



【応援団会議の様子】



【図書室の訪問の様子】